

数学

京都大学 [文系] (前期)

<全体分析>

試験時間

120 分

解答問題数

5 題

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

昨年はなかった独立小問が出題された。

その他トピックス

5は理系4の類似問題。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1 問1 問2	指數・対数 整数	数学II 数学A	指數に関する等式の証明 整数の除法	やや易標準
2	図形と方程式	数学II	恒等式の条件から点の集合を求める	標準
3	確率・数列	数学A 数学B	漸化式を立てて解く	やや難
4	微分法・積分法	数学II	共通接線と曲線で挟まれた部分の面積	標準
5	空間ベクトル	数学C	平面が定点を通ることを示す	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

近年、計算力を問う問題が増えており、複雑な作業を効率的に行う力を養いたい。例年、問題の構造を把握して方針を立てる力も問われているので、合わせて対策したい。
誘導の小問を削って練習することや、答案作成の練習のために添削指導を受けることも有効である。